



NPO 法人

# ひろしま人と樹の会

会報 No. 276

□理事長 荒川 純太郎

□事務局 〒733 - 0852 広島市西区鈴が峰町 16 - 20 (中元明弘)

Tel&amp;fax 082 - 277 - 9490 E-mail: hiroshimahitotokinokai@yahoo.co.jp

□年会費 2,000 円 郵便振替 01360-4-29388 「ひろしま人と樹の会」

□編集責任者 古川ちひろ

## 本号の内容

### <セミナーのご案内>

1. 番外編 現場セミナー  
第 24 回桜守りプロジェクトご案内  
土師ダム湖畔のさくら並木の手入れ  
(3/6: 火 下準備、3/11: 日 本番)  
安芸高田市八千代町土師

### <セミナー等の報告>

1. 番外編現場セミナー  
大径木の安全な伐採技術講習会に参加して  
(1/13: 土、14: 日、15: 月)  
広島市安佐北区口田南 3 丁目

2. 番外編セミナー座学  
広島の緑を考える講演会  
～豊かな趣きのある都市美を求めて～  
(1/24: 水)  
広島市中区西荒神町アークホテル広島駅南

### <事務局からのお知らせ>

## ◆セミナーのご案内◆

1. 番外編 現場セミナー  
第 24 回桜守りプロジェクトご案内  
土師ダム湖畔のさくら並木の手入れ  
(下準備 3 / 6 : 火、本番 3 / 11 : 日)  
安芸高田市八千代町土師

土師ダム湖畔には、6,000 本のさくらが植栽され「全国さくら 100 選」に選ばれ、県民に親しまれています。

この名物のさくらの木は、高齢化が進み、天狗巣病などにかかり生育不良も多く、場所によれば著しく景観を損ねて緊急に手入れが必要になっています。

この度も公園を管理されている国土交通省の土師ダム水源地域ビジョン「桜守プロジェクトチーム」から病気の桜を元気にする手伝いを要請されました。

ついては、お手伝いに次の通り参画しますのでご協力をお願いいたします。

どなたでも参加できます。体力に見合った作業を用意しますのでお子様や友人、知人お誘いあわせで参加をお願いいたします。

1 日時

①下準備 3月6日(火) 9時30分～15時

(チェーンソーを扱う方募集:10人)

②本番 3月11日(日) 9時30分～15時

(桜の枝払い、枝の集積、運搬、施肥、  
なめこの植菌など)2 場所

安芸高田市八千代町土師「のどごえ公園」

周辺

集合:土師ダム湖畔「はじ丸館」9時受付

3 参加募集予定

100人

4 作業内容

①下準備 病気の桜木伐倒

(チェーンソー経験者対象)

②本番

桜の枝払い、枝の集積、運搬、施肥、  
なめこの植菌など

(どなたでも参加できます。)

5 会費

無料(食事付き)

6 持参品作業のできる服装、タオル、ヘルメット、  
ノコ、山鎌など7 主催

桜守りプロジェクト

8 申込先

事務局 中元まで 3月2日必着

参加申込書 TEL・FAX 082-277-9490

名 前 (年齢)	住 所	連絡先 (TEL)	参加日に○印を付ける
			① 3/6 ②3/11
			① 3/6 ②3/11
			① 3/6 ②3/11



## ◆セミナー等の報告◆

### 1. 番外編現場セミナー 大径木の安全な伐採技術講習会に参加して (1/13:土、14:日、15:月) 広島市安佐北区口田南3丁目

冬型の気圧配置で気温が低く、雪や曇り晴と天候が不順な1月13日から15日の3日間、広島市安佐北区口田南地区で大径木の安全な伐採技術講習会を行い、林業家、造園業、ボランティア関係者など延べ33名の参加と地元などから延べ36名の見学者があった。

現場は、人家と街灯が接近し、1.5m程度の歩道しかないため重機が使えない、しかも胸高直径90cmの大径木という条件、ロープを使った樹上作業（ツリーワーク）について学ぶ。



【現地にて具体的な指導の状況】

指導には、技量と経験豊富な有限会社安田林業 安田孝、後藤さん佐伯区湯来町の井本さんの3者をお願いした。

樹上作業は、複合的な危険因子が多く存在するので高い集中力が必要。加えて技術や知識だけでなく樹上作業者と地上作業者の連携が必要であり共通した認識と意思の疎通が作業の安全性に重要な役割を担う。

このため、基本手順、道具の知識、各種点検等を現場作業員が共通認識した上で作業を行う必要性を作業実演で指導された。

樹上作業は、安田、後藤さんがヘルメット、

防護服、安全靴の服装に腰ベルトに各種カナビナ、スリング、セーバー、ロープ、手ノコ、チェーンソーなど重さ約15kgの器具を付けて登攀、ロープで身を安全に保持し、樹上の移動はロープの掛け替えを繰り返して枝を伐り落す作業を行った



【ロープの固定方法の指導】



【15kgの器具を付けてロープで登攀】

地下作業は井本さんが樹上作業者との緊密な連携の下、伐った枝を降ろすロープのアンカーや枝の落下位置の決定など地上での安全作業を受け持った。

#### 【具体的作業手順】

①安全対策（街灯の電線を仮移設、歩道の通行止め）、②用具の確認、③ゾーニング、④木



のエントリー（スローライン使用）、⑤登攀（ロープ取り付け）、⑥樹上でのチェーンソー操作、⑦降下、⑧ギア類の点検、⑨清掃、⑩通行止めの解除等

### 1 日目（雪、曇り）

- ・木に登っての移動を繰り返し枝落とし（枝の処理 30%）
- ・樹上作業と地上作業との連携の確認、実演



【全員で作業認識と意思の疎通を図る】

- ・落下に支障のない下枝から順次伐り落とし
  - ・スローラインでロープ掛け、ロープで登攀
- ①電柱の上の枝は、枝を伐っても落下しないようロープで2か所を括り障害物の無い方向に移動させて降ろす。



- ②障害物がない場合は、そのまま伐り落とす。
- ③枝は棚積みとして処理、太い枝はきのこ栽培用として利用。

### 2 日目（晴れ）

- ・木に登っての移動を繰り返し枝落とし（枝の処理 80%）

- ・地上 10m～15m の枝落としを行う。1 日目と作業内容はほぼ同じ



【樹高 15m の高さでの作業の様子】

- ・中心部の枝は重心に影響しないので残して枝落とし
- ・16 時 30 分に枝降ろしが無事完了。



### 3 日目

- ・胸高直径 90 cm 高さ 21m の伐倒



【エノキの大径木の施工前】

- ・井本さんがチェーンソーとチルホールで伐倒。
- ・樹木の直径が 90 cm と大きいので受け口側から

芯抜きを行い両サイドから合わせ切り、チルホールを使い倒すと「ズズズズードン」と物凄い地響きで倒れる。思わず拍手と歓声がわいた。



【大径木の受け口（芯抜きをする）】



【エノキ直径 90 cm 樹高 21m を伐倒した状況】

倒した方向は目標通り、切り口も水平、ツルも規定の幅で残っており見事な伐採技術であった。90 cm の幹はそのまま残して枝を整理し伐倒を無事に終了した。



【施工後の現況】

参加者からは「樹上作業に興味を持っていた」、「初めて参加した。」、「高度な技術を身につけたいと思っているので貴重な経験を得ることができた。」、「ツリーワークの作業は今後増えていくと思い参加した。今後ツリーワーカーとしての技術を身につけたいので次回は受講者も登攀体験できる機会をお願いしたい」等、また、見学者からは「隣家接近の大径木どうして切るのか想像がつかなかったがロープを使い木に登りチェーンソーで伐られる様子を見てこんな技術があるのかとすごく感動した。」等、ご意見をいただき、好評を得て講習会を終了した。

この事業は広島市の「森づくり推進事業」の支援を受けて実施しました。

（報告者 櫻井充弘）

## 2. 番外編セミナー座学

### 広島緑を考える講演会～豊かな趣きのある都市美を求めて～

（1 / 24 : 水）

#### 広島市中区西荒神町アークホテル広島駅南

1 月 24 日当会の団体会員である「みずえ緑地株式会社」の代表取締役正本大さんが会長を務める一般社団法人広島県造園建設業会等の主催の講演会を当会の座学と位置づけ参加した。

参加者は県内各地から総勢 200 名（当会 3 名、1 団体会員多数）の参加があった。

講師に、千葉大学名誉教授藤井英二郎さん（環境植栽学）を迎え、『「街路樹」豊かな趣



きのある都市美を求めて』をテーマに、【街路樹の樹冠最大化で都市が変わる】をパワーポイントで分かりやすく説明していただいた。



【主催者あいさつ 正本大さん】



【講師 藤井英二郎 名誉教授】

#### 【講演の要旨】

①日本の街路樹は建設限界に支障する幹や枝が伸びないように抑制剪定（枝透かし）をしていたが近年は「ぶつ切り」剪定がよく見られるようになった。予算不足などの理由で残念。

昭和初期のイギリス外交官の妻キャサリン・サンソムの記述「東京で暮らす」「日本の木はとても美しいし、日本では木は尊ばれ、とても大事に育てられている」透かし剪定により管理される街路樹は日本人の樹木感の表れであった。と事例も話された。

②強い抑制剪定「ぶつ切り」の樹木への影響

は、樹勢悪化、枯死などによる倒伏危険性の増大や社会資本の短命化を招き、また、根の成長抑制・支持力低下による倒伏危険性の増大に繋がっている。

③都市環境はコンクリート建造物の増大によりヒートアイランドの激化や地球温暖化、熱中症が増加する傾向にある。このため街路樹の樹冠拡大を図れば日射抑制、ストレス緩和、景観改善、防災機能強化つながる。豊かな緑量・緑陰を確保する樹冠拡大化を早急に進める必要がある。

④大きな樹冠が維持されている国、都市、地域事例を紹介。欧米、中国、韓国、仙台市、江戸川区、田園調布など写真で説明。

⑤剪定以外の課題としては、過剰支柱、植栽基盤の悪さが考えられ、植生を傷つけ、育成を妨げているので見直しが必要。

⑥樹冠最大化のための体制・技術については、  
・植栽の一括年間管理発注、植栽管理の一貫性・継続性の確保、同一業者による複数年管理  
・プロボーザル方式又は総合評価方式等により都市と調和した「街路樹」を選ぶことにより都市に品格を与える。

・最も身近な緑である「街路樹」に一人ひとりが目を向け、樹冠最大化に向けて声を上げ、行動する必要がある。

と結ばれた。

最後は場内からの質問も出る等活発で有意義な講習会であった。（報告者 櫻井充弘）

#### <事務局からのお知らせ>

【個人会員】 向井 榮一、荒川 純太郎（平成 30 年度分預かり）